

第 5 編 公 園

第 1 章	基盤整備.....	5	-	1	-	1	-	1
第 2 章	植栽.....	5	-	2	-	1	-	1
第 3 章	施設整備.....	5	-	3	-	1	-	1

第1章 基盤整備

1 敷地造成工	5 - 1 - 1 - 1
1 - 1 適用範囲	5 - 1 - 1 - 1
1 - 2 トラクター土工	5 - 1 - 1 - 1
2 擁壁工	5 - 1 - 1 - 1
2 - 1 適用範囲	5 - 1 - 1 - 1
2 - 2 コンクリートブロック工	5 - 1 - 1 - 1
2 - 2 - 1 コンクリートブロック(空洞ブロック積)	5 - 1 - 1 - 1
2 - 3 石積工	5 - 1 - 1 - 1
2 - 3 - 1 雑石 - 練石積	5 - 1 - 1 - 1
2 - 4 れんが積工	5 - 1 - 2 - 1
2 - 4 - 1 れんが積	5 - 1 - 2 - 1

第2章 植栽

1 公園植栽工	5 - 2 - 1 - 1
1 - 1 適用範囲	5 - 2 - 1 - 1
1 - 2 植栽工	5 - 2 - 1 - 1
1 - 3 樹木養生工	5 - 2 - 1 - 4
1 - 3 - 1 マルチング	5 - 2 - 1 - 4
1 - 3 - 2 支柱設置	5 - 2 - 1 - 5
1 - 4 地被類植栽工	5 - 2 - 1 - 6
1 - 4 - 1 地被類植栽	5 - 2 - 1 - 6
1 - 4 - 2 張芝	5 - 2 - 1 - 6
1 - 5 樹名板工	5 - 2 - 1 - 7
2 公園移植工	5 - 2 - 2 - 1
2 - 1 適用範囲	5 - 2 - 2 - 1
2 - 2 移植工	5 - 2 - 2 - 1
2 - 2 - 1 運搬	5 - 2 - 2 - 1
3 道路植栽工	5 - 2 - 3 - 1
3 - 1 適用範囲	5 - 2 - 3 - 1
4 植栽維持工	5 - 2 - 3 - 1
4 - 1 適用範囲	5 - 2 - 3 - 1
5 樹木保全工	5 - 2 - 5 - 1
5 - 1 適用範囲	5 - 2 - 5 - 1
5 - 2 樹木調査工	5 - 2 - 5 - 1
5 - 2 - 1 巡視点検	5 - 2 - 5 - 1
5 - 2 - 2 樹勢調査	5 - 2 - 5 - 1
5 - 3 灌水工	5 - 2 - 5 - 1
5 - 3 - 1 灌水設備点検	5 - 2 - 5 - 1
5 - 4 施肥工	5 - 2 - 5 - 1
5 - 4 - 1 施肥(パイル肥料)	5 - 2 - 5 - 1
5 - 5 捕獲駆除工	5 - 2 - 5 - 2
5 - 5 - 1 巣網剪除	5 - 2 - 5 - 2
6 環境保全工	5 - 2 - 6 - 1
6 - 1 適用範囲	5 - 2 - 6 - 1
6 - 2 障害樹処理工	5 - 2 - 6 - 1
6 - 2 - 1 障害樹処理	5 - 2 - 6 - 1
6 - 3 落葉除去工	5 - 2 - 6 - 1
6 - 3 - 1 落葉除去	5 - 2 - 6 - 1

第3章 施設整備

1	給水設備工	5 - 3 - 1 - 1
1 - 1	適用範囲	5 - 3 - 1 - 1
1 - 2	水栓類取付工	5 - 3 - 1 - 1
1 - 2 - 1	水栓類取付	5 - 3 - 1 - 1
1 - 2 - 2	止水栓取付	5 - 3 - 1 - 1
1 - 2 - 3	メーターボックス設置	5 - 3 - 1 - 2
1 - 2 - 4	排水金具取付	5 - 3 - 1 - 2
2	雨水排水設備工	5 - 3 - 2 - 1
2 - 1	適用範囲	5 - 3 - 2 - 1
2 - 2	側溝工	5 - 3 - 2 - 1
2 - 2 - 1	プレキャストU型側溝	5 - 3 - 2 - 1
2 - 2 - 2	現場打ち側溝	5 - 3 - 2 - 1
2 - 2 - 3	側溝蓋	5 - 3 - 2 - 2
2 - 2 - 4	外周側溝	5 - 3 - 2 - 2
2 - 3	管渠工	5 - 3 - 2 - 2
2 - 3 - 1	公園管渠	5 - 3 - 2 - 2
2 - 3 - 2	管閉塞	5 - 3 - 2 - 3
2 - 4	集水樹・マンホール工	5 - 3 - 2 - 4
2 - 4 - 1	プレキャスト集水樹	5 - 3 - 2 - 4
2 - 4 - 2	プレキャストマンホール	5 - 3 - 2 - 4
3	汚水排水設備工	5 - 3 - 3 - 1
3 - 1	適用範囲	5 - 3 - 3 - 1
3 - 2	汚水樹・マンホール工	5 - 3 - 3 - 1
3 - 2 - 1	インバート上塗り	5 - 3 - 3 - 1
4	園路広場整備工	5 - 3 - 4 - 1
4 - 1	適用範囲	5 - 3 - 4 - 1
4 - 2	アスファルト系舗装工	5 - 3 - 4 - 1
4 - 2 - 1	公園アスファルト舗装	5 - 3 - 4 - 1
4 - 3	コンクリート系舗装工	5 - 3 - 4 - 1
4 - 3 - 1	インターロッキング舗装	5 - 3 - 4 - 1
4 - 3 - 2	公園コンクリート舗装	5 - 3 - 4 - 2
4 - 4	土系舗装工	5 - 3 - 4 - 2
4 - 5	レンガ・タイル系舗装工	5 - 3 - 4 - 3
4 - 6	石材系舗装工	5 - 3 - 4 - 3
4 - 7	園路縁石工	5 - 3 - 4 - 4
4 - 7 - 1	コンクリート縁石	5 - 3 - 4 - 4
4 - 7 - 2	擬石縁石	5 - 3 - 4 - 4
4 - 7 - 3	現場打縁石	5 - 3 - 4 - 5
4 - 7 - 4	石材縁石	5 - 3 - 4 - 5
5	修景施設整備工	5 - 3 - 4 - 5
5 - 1	適用範囲	5 - 3 - 4 - 5
5 - 2	石組工	5 - 3 - 4 - 5
6	遊戯施設整備工	5 - 3 - 6 - 1
6 - 1	適用範囲	5 - 3 - 6 - 1
6 - 2	遊具組立設置工	5 - 3 - 6 - 1
7	サービス施設整備工	5 - 3 - 6 - 1
7 - 1	適用範囲	5 - 3 - 6 - 1
7 - 2	ベンチ・テーブル工	5 - 3 - 6 - 1
7 - 2 - 1	ベンチ・スツール	5 - 3 - 6 - 1

8	管理施設整備工	5 - 3 - 8 - 1
8 - 1	適用範囲	5 - 3 - 8 - 1
8 - 2	門扉工	5 - 3 - 8 - 1
8 - 2 - 1	金網柵門扉	5 - 3 - 8 - 1
8 - 3	柵工	5 - 3 - 8 - 1
8 - 3 - 1	外周柵	5 - 3 - 8 - 1
8 - 4	車止め工	5 - 3 - 8 - 2
8 - 5	管理施設修繕工	5 - 3 - 8 - 3
8 - 5 - 1	管理施設修繕	
9	施設仕上げ工	5 - 3 - 9 - 1
9 - 1	適用範囲	5 - 3 - 9 - 1
9 - 2	塗装仕上げ工	5 - 3 - 9 - 1
9 - 2 - 1	素地ごしらえ	5 - 3 - 9 - 1
9 - 2 - 2	素地調整	5 - 3 - 9 - 1
9 - 2 - 3	合成樹脂調合ペイント塗り	5 - 3 - 9 - 2
9 - 2 - 4	オイルステインワニス塗り	5 - 3 - 9 - 2
9 - 3	加工仕上げ工	5 - 3 - 9 - 3
9 - 3 - 1	コンクリート加工仕上げ	5 - 3 - 9 - 3
9 - 4	左官仕上げ工	5 - 3 - 9 - 3
9 - 4 - 1	化粧目地切	5 - 3 - 9 - 3
9 - 4 - 2	コンクリート仕上げ	5 - 3 - 9 - 3
9 - 4 - 3	モルタル仕上げ	5 - 3 - 9 - 3
9 - 4 - 4	色モルタル仕上げ	5 - 3 - 9 - 3
9 - 4 - 5	人造石仕上げ	5 - 3 - 9 - 4
9 - 4 - 6	タイル下地モルタル塗り	5 - 3 - 9 - 4
9 - 5	タイル仕上げ工	5 - 3 - 9 - 4
9 - 5 - 1	タイル張仕上げ	5 - 3 - 9 - 4

第1章 基盤整備

1 敷地造成工

1-1 適用範囲

本資料は、公園工事における敷地造成工に適用する。

1-2 トラクター土工

「公園緑地工事標準歩掛（平成30年4月）1-2-1 トラクター土工」を参照。

2 擁壁工

2-1 適用範囲

本資料は公園工事におけるコンクリートブロック工、石積工、レンガ積み工に適用する。

2-2 コンクリートブロック工

2-2-1 コンクリートブロック（空洞ブロック積）

「公園緑地工事標準歩掛（平成30年4月）2-2-1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積」を参照。

2-3 石積工

「公園緑地工事標準歩掛（平成30年4月）2-3 石積工」を参照。

2-3-1 雑石 - 練石積

(1) 施工歩掛

雑石による練石積施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 雑石による練石積工歩掛 (10 m²当り)

名 称	単 位	数 量		摘 要
		雑	石	
		控え 200 mm		
世 話 役	人	0.4		
石 工	人	0.9		
普通作業員	人	1.8		

2 - 4 れんが積工

2 - 4 - 1 れんが積

れんが積みの施工歩掛は次表を標準とする。

表 1.2 れんが積

(1㎡当り)

れんが壁厚	名 称	形 状 規 格	単 位	数 量	摘 要
1 / 2 B (半枚積み) 壁厚 10cm	れ ん が	210×100×60	本	68	
	目地モルタル	1 : 2	m ³	0.022	
	建築ブロック工		人	0.15	
	普通作業員		人	0.10	
1 B (1枚積み) 壁厚 21cm	れ ん が	210×100×60	本	136	
	目地モルタル	1 : 2	m ³	0.055	
	建築ブロック工		人	0.27	
	普通作業員		人	0.16	
1 1 / 2 B (1.5枚積み) 壁厚 32cm	れ ん が	210×100×60	本	205	
	目地モルタル	1 : 2	m ³	0.09	
	建築ブロック工		人	0.42	
	普通作業員		人	0.26	

(注) 1. れんが数量は、ロスによる加算済みである。

2. 上表は、耐火れんが積には適用しない。

3. 化粧積みの場合は、建築ブロック工片面 0.08 人 / m²、化粧目地モルタル 0.005 m³ / 壁 m²を加算する。

第2章 植栽

1 公園植栽工

1-1 適用範囲

本資料は、公園工事の植栽作業及び移植作業に適用する。なお、高木とは、樹高3m以上、中低木とは、樹高3m未満とする。

植栽工事の割増積算

新植樹木等の植樹割増しとして、下記の費用を加算する。ただし、移植及び根回し工事に係わるものは除く。

$$\text{割増経費} = \text{「材料費 + 労務費 + 機械経費」} \times 0.5\%$$

1-2 植栽工

施工歩掛については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 公園植栽工」、及び、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 公園植栽工（市場単価方式）」を参照する。

また、特殊樹木（フジ）については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 公園植栽工」、高木植栽歩掛を適用し、その他ヤシ類等の特殊樹木については別途考慮すること。

(1) 客土材料使用量

植栽工に用いる材料使用量は下表のとおりとする。

表 2.1 中低木客土使用数量

樹木形状寸法 (cm 以上 ~ cm 未満)			高さ ~ 30	高さ 31~50	高さ 51~80	高さ 81~100	高さ 101~150	高さ 151~200	高さ 201~250	高さ 251~300	配合 比率	
客 土 量			0.0140	0.0200	0.0260	0.0350	0.0490	0.0770	0.1110	0.1560		
内 訳	A 型	掘削土使用量	m ³	0.0126	0.0180	0.0234	0.0315	0.0441	0.0693	0.0999	0.1404	9
		山土使用量	m ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		活性堆肥使用量	L	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1
	B 型	掘削土使用量	m ³	0.0070	0.0100	0.0130	0.0175	0.0245	0.0385	0.0555	0.0780	5
		山土使用量	m ³	0.0067	0.0096	0.0125	0.0168	0.0235	0.0370	0.0533	0.0749	4
		活性堆肥使用量	L	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1
	C 型	掘削土使用量	m ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		山土使用量	m ³	0.0151	0.0216	0.0281	0.0378	0.0530	0.0832	0.1199	0.1685	9
		活性堆肥使用量	L	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1

注：山土については、2割増の数量を示す。

表 2.2 高木客土使用数量

樹木形状寸法 (cm 以上 ~ cm 未満)		幹周 ~ 10	幹周 11~15	幹周 16~20	幹周 21~25	幹周 26~30	幹周 31~35	幹周 36~45	幹周 46~60	幹周 61~75	幹周 76~90	幹周 91~105	幹周 106~120	配合比率		
客 土 量		0.073	0.112	0.209	0.330	0.480	0.550	0.940	1.540	2.380	3.370	5.400	6.390			
内 訳	A型	掘削土 使用量	m ³	0.066	0.101	0.188	0.297	0.432	0.495	0.846	1.386	2.142	3.033	4.860	5.751	9
		山土 使用量	m ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		活性堆肥 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1
	B型	掘削土 使用量	m ³	0.037	0.066	0.105	0.165	0.240	0.275	0.470	0.770	1.190	1.685	2.700	3.195	5
		山土 使用量	m ³	0.035	0.054	0.100	0.158	0.230	0.264	0.451	0.739	1.142	1.618	2.592	3.067	4
		活性堆肥 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1
	C型	掘削土 使用量	m ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		山土 使用量	m ³	0.079	0.121	0.226	0.356	0.518	0.594	1.015	1.663	2.570	3.640	5.832	6.901	9
		活性堆肥 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1

注：山土については、2割増の数量を示す。

表 2.3 中低木改良型客土使用数量

樹木形状寸法 (cm 以上 ~ cm 未満)		高さ ~ 30	高さ 31~50	高さ 51~80	高さ 81~100	高さ 101~150	高さ 151~200	高さ 201~250	高さ 251~300	配合比率			
客 土 量		0.0140	0.0200	0.0260	0.0350	0.0490	0.0770	0.1110	0.1560				
内 訳	改良型 1型	山土使用量	m ³	0.0100	0.0144	0.0187	0.0252	0.0352	0.0554	0.0799	0.1123	6	6
		パ°-ライト使用量	L	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1	-
		珪藻土使用量	L	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1	-
		活性堆肥使用量	L	2.80	4.00	5.20	7.00	9.80	15.40	22.20	31.20	2	-
		改良型混合材	L	5.60	8.00	10.40	14.00	19.60	30.80	44.40	62.40	-	4
	改良型 2型	山土使用量	L	0.0084	0.0120	0.0156	0.0210	0.0294	0.0462	0.0666	0.0936	6	6
		パ°-ライト使用量	m ³	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1	-
		珪藻土使用量	m ³	1.40	2.00	2.60	3.50	4.90	7.70	11.10	15.60	1	-
		活性堆肥使用量	L	2.80	4.00	5.20	7.00	9.80	15.40	22.20	31.20	2	-
		改良型混合材	L	5.60	8.00	10.40	14.00	19.60	30.80	44.40	62.40	-	4

注：1. 山土については、2割増の数量を示す。

2. 客土改良材については、パーライト、珪藻土、活性堆肥の各材料による攪拌か、改良型混合材の使用のどちらかとする。

表 2.2 高木客土使用数量

樹木形状寸法 (cm 以上 ~ cm 未満)		幹周 ~ 10	幹周 11~15	幹周 16~20	幹周 21~25	幹周 26~30	幹周 31~35	幹周 36~45	幹周 46~60	幹周 61~75	幹周 76 ~90	幹周 91 ~105	幹周 106 ~120	配合比率			
客 土 量		0.073	0.112	0.209	0.330	0.480	0.550	0.940	1.540	2.380	3.370	5.400	6.390				
内 訳	改良型1号	山土 使用量	m ³	0.052	0.080	0.150	0.237	0.345	0.396	0.676	1.108	1.713	2.426	3.888	4.600	6	6
		パーライト 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1	-
		珪藻土 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1	-
		活性堆肥 使用量	L	14.6	22.4	41.8	66.0	96.0	110.0	188.0	308.0	476.0	674.0	1080.0	1278.0	2	-
		改良型 混合材	L	29.2	44.8	83.6	132.0	192.0	220.0	376.0	616.0	952.0	1348.0	2160.0	2556.0	-	4
	改良型2号	掘削土 使用量	m ³	0.043	0.067	0.125	0.198	0.288	0.330	0.564	0.924	1.428	2.022	3.240	3.834	6	6
		パーライト 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1	-
		珪藻土 使用量	L	7.3	11.2	20.9	33.0	48.0	55.0	94.0	154.0	238.0	337.0	540.0	639.0	1	-
		活性堆肥 使用量	L	14.6	22.4	41.8	66.0	96.0	110.0	188.0	308.0	476.0	674.0	1080.0	1278.0	2	-
		改良型 混合材	L	29.2	44.8	83.6	132.0	192.0	220.0	376.0	616.0	952.0	1348.0	2160.0	2556.0	-	4

注：1．山土については、2割増の数量を示す。

2．客土改良材については、パーライト、珪藻土、活性堆肥の各材料による搅拌か、改良型混合材の使用のどちらかとする。

(2) 単価表

客土

(1本当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
掘削土		m ³		表 2.1、2.2
山 土	植栽用	m ³		表 2.1、2.2
活性堆肥	パーク堆肥(樹皮)	L		表 2.1、2.2
諸 雑 費		式	1	
計				

改良型客土

(1本当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
山 土		m ³		表 2.3、2.4
掘削土		m ³		表 2.3、2.4
パーライト	黒曜石系	L		表 2.3、2.4
珪藻土	珪藻土焼成粒	L		表 2.3、2.4
活性堆肥	パーク堆肥(樹皮)	L		表 2.3、2.4
改良型混合材		L		表 2.3、2.4
諸 雑 費		式	1	
計				

1 - 3 樹木養生工

1 - 3 - 1 マルチング

マルチングは樹木の養生等に適用し、材料及び歩掛は次表を標準とする。

(1) マルチング材料使用量

植栽工に用いる材料使用量は下表のとおりとする。

表 2.5 高 木

1 本当り

形式	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	A-9	A-10	A-11	A-12
L	18.7	22.1	29.7	38.5	48.4	53.7	78.0	114.8	168.2	231.8	279.8	327.8
適用 (cm)	幹周 ~ 10	幹周 11~15	幹周 16~20	幹周 21~25	幹周 26~30	幹周 31~35	幹周 36~45	幹周 46~60	幹周 61~75	幹周 76~90	幹周 91~105	幹周 106~120

表 2.6 低木寄植え用

1 株当り

形式	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	C-6	C-7	C-8	C-9	C-10	C-11
L	12.5	10.0	8.3	7.1	6.3	5.6	5.0	4.5	4.2	3.1	2.0
適用 (株 / m ²)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	16	25

表 2.7 低木単独植え用

1 株当り

形式	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7	D-8
L	3.3	4.3	5.4	6.6	8.3	11.4	14.6	18.7
適用 (cm)	高さ ~ 30	高さ 31 ~ 50	高さ 51 ~ 80	高さ 81 ~ 100	高さ 101 ~ 150	高さ 151 ~ 200	高さ 201 ~ 250	高さ 251 ~ 300

表 2.8 地 被

1 株当り

形式	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5
L	3.1	2.0	1.4	1.1	0.8
適用 (株 / m ²)	16	25	36	44	64

(2) 単価表

マルチング (公園樹)

(1 本又は株 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
活性堆肥	パーク堆肥	L		表 2.5 ~ 2.8
敷均し		L		活性堆肥と同数(表 2.5 ~ 2.8)
諸 雑 費		式	1	
計				

マルチング (街路樹)

(1 本又は株 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
チップ、パーク	防火処理、糊剤入	L		表 2.5 ~ 2.8
敷均し		L		チップ、パークと同数(表 2.5 ~ 2.8)
諸 雑 費		式	1	
計				

1 - 3 - 2 支柱設置

支柱設置は、建込み・結束からなり、支柱形式別・支柱材料及び歩掛は次表を標準とする。

表 2.9 支柱材料及び設置歩掛

名 称	形状寸法	単 位	100 本 当 り							
			二本鳥居型 支 柱 (添木付)	二本鳥居型 支 柱 (添木なし)	三本鳥居型 支 柱 (添木なし)	十字鳥居型 支 柱	四脚支柱 (A)	四脚支柱 (B)	三本支柱 (A)	三本支柱 (B)
適 用 範 囲	高 木 (幹 周)	c m	30 未 満	20 以 上 30 未 満	30 以 上 60 未 満	30 以 上 60 未 満	40 以 上 75 未 満	40 以 上 75 未 満	20 以 上 35 未 満	30 以 上 75 未 満
土 木 一 般 世 話 役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	3.6	2.0	3.1
造 園 工		人	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	20.4	11.1	17.6
普 通 作 業 員		人	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	11.8	6.4	10.2
杉 丸 太	L0.6m × 末口 6.0 cm	本	100	100	100					
杉 丸 太	L0.6m × 末口 7.5 cm	本				200	200			
杉 丸 太	L0.75m × 末口 7.5 cm	本					200	400		
杉 丸 太	L0.8m × 末口 6.0 cm	本							300	300
杉 丸 太	L1.8m × 末口 6.0 cm	本	200	200	300					
杉 丸 太	L1.8m × 末口 7.5 cm	本				200				
杉 丸 太	L2.1m × 末口 7.5 cm	本				200	400	400		
杉 丸 太	L3.0m × 末口 3.0 cm	本	100							
杉 丸 太	L4.0m × 末口 6.0 cm	本							300	
杉 丸 太	L6.3m × 中口 6.0 cm	本								300
諸 雑 費		%	4	4	3	3	2	2	4	3

- (注) 1. 諸雑費は杉皮(緑化テープ)、しゅろ縄、洋釘、鉄線等の費用であり、労務費・材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 現場条件等により上表により難しい場合は別途考慮すること。

1 - 4 地被類植栽工

1 - 4 - 1 地被類植栽

市場単価方式による地被類植付に適用し、施工歩掛については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 公園植栽工（市場単価方式）」を参照する。

(1) 地被植付床

市場単価方式による、地被類植付に際し適用し、施工歩掛については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 公園植栽工（市場単価方式）」を参照する。

(2) 地被植付床材料使用量

地被植付工に用いる材料使用量は下表のとおりとする。

表 2.10 地被植付床 1000 株当り

形式	G-1	G-2	G-3	G-4	G-5
樹皮堆肥(L)	1,875	1,200	833	682	469
緩効性被覆肥料(kg)	9.375	6.000	4.167	3.409	2.344
適用(株/m ²)	16	25	36	44	64

(2) 単価表

地被植付床 1000 株 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
樹皮堆肥	バーク堆肥	L		表 2.10
緩効性被覆肥料		Kg		表 2.10
諸 雑 費		式	1	
計				

1 - 4 - 2 張芝

張芝の植付における地拵え、植付け、目土かけ、現場内小運搬等の一連の作業を行うもので、施工歩掛については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 張芝工」を参照する。

張芝の使用材料数量は次表を標準とする。

表 2.11 張芝材料使用数量 (100 m²当り)

品 名	形状寸法	単 位	高 麗 芝		野 芝	摘 要
			目地なし	目地巾 4 cm	目地巾 6 cm	
高 麗 芝	280×360mm 半土付き	m ²	100	78		
野 芝	280×360mm 半土付き	m ²			70	
目 土	良質土	m ³	2.7	2.7	2.7	

1 - 5 樹名板工

樹名板取付作業に適用し、施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.12 樹名板取付歩掛

(100枚当り)

名 称	形 状 規 格	単 位	数 量		摘 要
			高 木	低 木	
埋 込 型 樹 名 板	ポリエチレン2層成型品	枚		100	
幹 巻 型 樹 名 板	ポリエチレン2層成型品	枚	100		
普 通 作 業 員		人	0.21	0.42	
諸 雑 費		式	1	1	

2 公園移植工

2-1 適用範囲

本資料は、公園工事における移植作業に適用する。

2-2 移植工

移植工は、掘取、運搬、植栽からなり、施工歩掛については「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 移植工」を参照する。

2-2-1 運搬

樹木運搬の歩掛は、次表を標準とする。

表 2.13 移植樹木運搬歩掛

(100本当り)

	中・低木 (樹高 cm)				高木 (幹周 cm)				
	50 未満	50 以上～ 100 未満	100 以上～ 200 未満	200 以上～ 300 未満	15 未満	15 以上～ 25 未満	25 以上～ 40 未満	40 以上～ 60 未満	60 以上～ 90 未満
積載本数	110 本	50 本	45 本	45 本	20 本	13.3 本	7.7 本	2.5 本	1.0 本
運搬機械	トラック (クレーン装置付) ベーストラック 4t 積 吊能力 2.9t								
5km 以下	6.6h	9.4h	11.7h	15.0h	21.3h	29.4h	8.7h	20.5h	49.0h
10km 以下	7.1h	10.4h	12.8h	16.1h	23.7h	33.2h	17.4h	41.0h	98.0h
15km 以下	7.6h	11.4h	13.9h	17.2h	26.1h	37.0h	26.1h	61.5h	147.0h
20km 以下	8.1h	12.4h	15.0h	18.3h	28.5h	40.8h	34.8h	82.0h	196.0h
25km 以下	8.6h	13.4h	16.1h	19.4h	30.9h	44.6h	43.5h	102.5h	245.0h
30km 以下	9.1h	14.4h	17.2h	20.5h	33.3h	48.4h	52.2h	123.0h	294.0h
35km 以下	9.6h	15.4h	18.3h	21.6h	35.7h	52.2h	60.9h	143.5h	343.0h
(注)	5km を越え 5km 増す毎に加算する運搬時間 (h)								
	0.5h	1.0h	1.1h	1.1h	2.4h	3.8h	8.7h	20.5h	49.0h

(注) 1. 掘取歩掛に 100m 程度の現場内小運搬を含むことから、本歩掛では 200m を超える場合に適用する。

2. 中・低木と高木の幹周 25cm 未満については、積込み、取卸し時間を含む。

3. 高木の幹周 25cm 以上～幹周 90cm 未満については、掘取歩掛に積込み・取卸し時間を含む。

3 道路植栽工

3 - 1 適用範囲

本資料は、市場単価方式による、道路植栽工事に適用し、施工歩掛については「国土交通省工事標準積算基準書
- 2 - 道路植栽工」を適用する。

4 植栽維持工

4 - 1 適用範囲

本資料は、市場単価方式による、道路植栽維持工事に適用し、施工歩掛については「国土交通省工事標準積算
基準書 - 2 - 道路植栽工」を適用する。

5 樹木保全工

5 - 1 適用範囲

本資料は、公園・街路の樹木管理作業における樹木保全工に適用する。

なお、機械運転単価表については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 6 - (機械運転単価表 機 - 6)」を参照する。

5 - 2 樹木調査工

5 - 2 - 1 巡視点検

巡視点検の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.14 巡視点検歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(1.5t)	h	4.7	
造 園 工	人	1.00	
諸 雑 費	式	1	

5 - 2 - 2 樹勢調査

樹勢調査の施工歩掛は、次表を標準とする

表 2.15 樹勢調査工 (100本当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
造 園 工	人	3.33	
諸 雑 費	式	1	

5 - 3 灌水工

5 - 3 - 1 灌水設備点検

灌水設備点検の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.16 灌水設備点検歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(1.5t)	h	4.7	
普 通 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

5 - 4 施肥

5 - 4 - 1 施肥(パイル肥料)

パイル肥料の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.17 パイル肥料歩掛 (100本当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
パイル肥料	N:P:K = 17:10:10 φ = 300m/m 300m/m	本	100	
造 園 工		人	0.45	
普 通 作 業 員		人	0.14	
諸 雑 費		式	1	

5 - 5 捕獲駆除工

5 - 5 - 1 巣網剪除

巣網剪除の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.18 巣網剪除歩掛

(1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(2t)	h	4.7	
造 園 工	人	1	
普 通 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

6 環境保全工

6 - 1 適用範囲

本資料は、公園・街路の樹木管理作業における環境保全工に適用する。

なお、機械運転単価表については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 6 - (機械運転単価表 機 - 6)」を参照する。

6 - 2 障害樹処理工

6 - 2 - 1 障害樹処理

障害樹処理の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.19 障害樹処理歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(2t)	h	4.7	
造 園 工	人	1	
普 通 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

6 - 3 落葉除去工

6 - 3 - 1 落葉除去

落葉除去(人力)の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.20 落葉除去(人力)歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(2t)	h	4.7	
普 通 作 業 員	人	1	
軽 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

第3章 施設整備

1 給水設備工

1-1 適用範囲

本資料は、公園工事における水栓類取付工、給水管路工に適用する。

1-2 水栓類取付工

1-2-1 水栓類取付

水栓類取付の歩掛は次表を標準とする。

表3.1 水栓類取付歩掛 (1個当り)

名称	単位	口径			摘要
		13	20	25	
各種水栓	個	1.0			
配管工(各種水栓)	人	0.07	0.08	0.09	
散水栓(箱共)	個	1.0			
配管工(箱共)	人	0.35	0.35	0.35	

- (注) 1. 新規散水栓(箱共)を設置する場合は散水栓(箱共)と配管工(散水栓(箱共))を適用する。
 2. 既存の箱内に水栓を設置する場合は、各種水栓と配管工(各種水栓)を適用する。
 3. 箱内に2個以上の水栓を設置する場合は別途考慮すること。

1-2-2 止水栓設置

止水栓設置・据直し(ボックス嵩上げ)、ボックスのみ据付の設置歩掛は、次表を標準とする。

表3.2 止水栓設置 (1箇所当り)

名称	規格	単位	25 mm		40 mm		50 mm		ボックスのみ据付			摘要
			標準	嵩上げ	標準	嵩上げ	標準	嵩上げ	25mm	40mm	50mm	
配管工		人	0.09	0.09	0.12	0.12	0.13	0.13	0.009	0.012	0.014	
普通作業員		人	0.05	0.05	0.07	0.07	0.08	0.08	0.026	0.033	0.033	
止水栓	25 mm	個	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	40 mm	個	-	-	1	1	-	-	-	-	-	
	50 mm	個	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
止水栓ボックス	125	個	1	1	-	-	-	-	1	-	-	
	125 継足用	個	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	150	個	-	-	1	1	1	1	-	1	1	
	150 継足用	個	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
配管継手工		箇所	2	2	2	2	2	2	-	-	-	
諸雑費		式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	端数処理
計												

(注) 本表の止水栓設置(標準・据直し)は止水栓及びボックス設置を含む。

表3.3 ビニル管継手工

(1箇所当り)

名称	規格	単位	25 mm	40 mm	50 mm	75 mm	摘要
配管工		人	0.02	0.03	0.04	0.04	
普通作業員		人	0.02	0.03	0.04	0.04	
諸雑費率		%	2	2	2	2	労務費の合計+ 端数処理
計							

(注) 本表は1箇所あたり2口の接合としており、1口の接合の場合については、本表の歩掛り(配管工・普通作業員)の50%とする。

1 - 2 - 3 メーターボックス設置

メーターボックスの設置歩掛は、次表を標準とする。

表 3.4 メーターボックス設置歩掛

(1個当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
メーターボックス	口径 40 mm以下用	個	1	MS -1,2,3
配 管 工		人	0.23	

1 - 2 - 4 排水金具取付

排水目皿の取付歩掛は次表を標準とする。

表 3.5 排水目皿取付歩掛

(1個当り)

名 称	単 位	口 径			
		40	50	65	75(80)
排 水 目 皿	個	1	1	1	1
配 管 工	人	0.20	0.23	0.26	0.29

2 雨水排水設備工

2 - 1 適用範囲

本資料は、公園工事における排水構造物工に適用する。

2 - 2 側溝工

2 - 2 - 1 プレキャストU型側溝

施工歩掛りについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 排水構造物工」を参照する。

2 - 2 - 2 現場打側溝

使用材料及び施工歩掛りについては、次表を標準とし、施工パッケージについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工、 - 4 - 型枠工、 - 4 - コンクリート工」を、標準単価については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 排水構造物工」を参照する。

表 3.6 現場打側溝

(10m当り)

施工パッケージ名称		単位	蓋(T-2)		蓋(T-6)		備考
			一般	細目	一般	細目	
基礎砕石		m ²	5.0				施工P
型枠		m ²	13.18				施工P
コンクリート		m ³	0.95				施工P
排水構造物工 蓋版据付(手間のみ)		枚	10				標準単価
材料名称	規格		現場打側溝 (蓋 T-2)		現場打側溝 (蓋 T-6)		
			一般	細目	一般	細目	
溝蓋 (グレーチング)	995×300×25(受枠共)	組	10	-	-	-	
	995×300×32(受枠共)	組	-	-	10	-	
	995×300×19(受枠共)	組	-	10	-	-	
	995×300×25(受枠共)	組	-	-	-	10	
溝蓋連結金具	鎖・アンカーシヤックル	個	10				
諸 雑 費		式	1				

<参考 溝蓋重量>

名 称	形状寸法	1枚当り重量(kg)
溝 蓋	180用 T-2 細目 L=997	9.4 kg
	180用 T-6 細目 L=997	9.4 kg
	240用 T-2 細目 L=997	11.7 kg
	240用 T-6 細目 L=997	17.4 kg
	200用 T-2 L=995 受枠共	18.3 kg
	200用 T-6 L=995 受枠共	21.3 kg
	200用 T-2 細目 L=995 受枠共	18.1 kg
	200用 T-6 細目 L=995 受枠共	24.5 kg

2 - 2 - 3 側溝蓋

施工歩掛については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 排水構造物工」を参照する。

2 - 2 - 4 外周側溝

施工歩掛については、次表を標準とし、施工パッケージについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 4 - モルタル練」を参照する。

表 3.7 外周側溝 (100m当り)

名 称	単位	側溝幅		摘 要
		180mm	240 mm	
左 官 工	人	0.86	1.15	
普 通 作 業 員	人	0.11	0.14	
施工パッケージ名称	単位	側溝幅		適 要
		180mm	240 mm	
モルタル練(1:3)	m ³	0.54	0.72	厚 30 mm
諸 雑 費	式	1	1	

2 - 3 管渠工

2 - 3 - 1 公園管渠

本資料は、公園工事における公園管渠に適用し、施工概要・施工パッケージは、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 排水工、 - 2 - フィルター材」を参照する。

(1) 公園管渠材料使用量

公園管渠工事に用いる材料使用量は下表のとおりとする。

表 3.8 使用材料表 (100m当り)

種 別	規 格		硬質塩化 ビニル管(本)	硬質塩化ビニル管継手		フィルター材 再生砂(m ³)
	呼び径 (mm)	長さ (m)		上流用 L=500mm(個)	下流用 L=500mm(個)	
硬質塩化 ビニル管	D=100	4.0	23.35	8	7	18.82
	D=125		23.60	7	6	19.48
	D=150		23.86	6	5	19.76
	D=200		24.11	5	4	25.45
	D=250		24.36	4	3	35.76

(注) ビニル管の数量については割増率を含む。

(2) 単価表

公園管渠

(100m 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管 布 設	各 種	m	100	硬質塩化ビニル管布設参照
フィルター材	再生砂	m ³		表 4.8 施工 P
諸 雑 費		式	1	
計				

硬質塩化ビニル管布設

(100m 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 作 業 員		人		2-3-1 参照
普 通 作 業 員		人		
管 接 合 材 料	接着剤・滑材	k g		
硬質塩化ビニル管	材料 各種	本		表 4.8
硬質塩化ビニル管継手	上流用 各種	個		表 4.8
硬質塩化ビニル管継手	下流用 各種	個		表 4.8
諸 雑 費		式	1	
計				

2 - 3 - 2 管閉塞

本資料は、公園工事における公園管渠の管閉塞（れんが閉塞）に適用し、施工歩掛等については、本編 5-1-2-2 れんが積工、施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 4 - モルタル練」を参照する。また、材料使用量は下表のとおりとする。

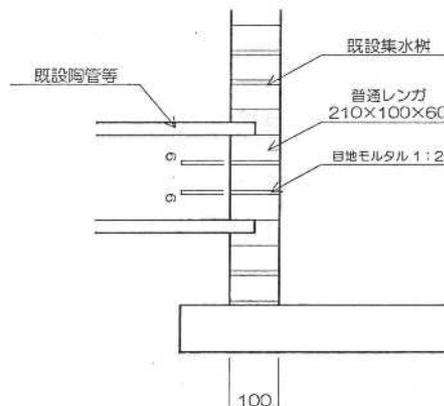
表 3.9 管径別数量

(100ヶ所当り)

	管径 (mm)	150	200	250	備 考
断 面 積 (m ²)		1.76	3.14	4.90	
普通れんが (枚)	JIS3 種 210×100×60mm	116	207	323	
目地モルタル (m ³)	1 : 2	0.02	0.05	0.08	施工 P

注) れんが積は半枚積とし、目地幅は9mmを標準とする。

(参 考 図)



2 - 4 集水樹・マンホール工

2 - 4 - 1 プレキャスト集水樹

本資料は公園工事におけるプレキャスト集水樹に適用し、施工概要・施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - プレキャスト集水樹、 - 4 - モルタル練」を参照する。

表 3.10 プレキャスト集水樹

(10基当り)

施工パッケージ名称		単位	集水樹 H=800		集水樹 H=950		集水樹 H=1150	
			(F)	(I)	(E)	(H)	(D)	(G)
プレキャスト集水樹		基	10		10		10	
モルタル練 (1 : 2)		m ³	0.06	0.01	0.07	0.02	0.07	0.02
名 称	規 格		集水樹 H=800		集水樹 H=950		集水樹 H=1150	
			(F)	(I)	(E)	(H)	(D)	(G)
樹 本 体	570×570×670	基	10	10	10	10	10	10
樹継ぎ足し(H=140)	570×570×140	基	-	-	10	10	-	-
樹継ぎ足し(H=340)	570×570×340	基	-	-	-	-	10	10
集 水 樹 蓋	集水樹蓋(D-I型用)	組	10	10	10	10	10	10
諸 雑 費		式	1					

集水樹規格毎の積算条件区分(製品質量)一覧表

積算条件	集水樹 H=800		集水樹 H=950		集水樹 H=1150	
	(F)	(I)	(E)	(H)	(D)	(G)
製品質量(kg/基)	80kgを超え400kg以下				400kgを超え800kg以下	

<参考 集水樹重量>

名 称	形状寸法	備 考
集水樹蓋(D-I型用)	650×560×200 mm	96 kg
集水樹蓋	500×400×31 mm	15 kg
集水樹蓋(三方枠) (取替(1)用)	730×540×140 mm	79 kg
集水樹蓋(四方枠) (A-C型・取替(2)用)	730×640×140 mm	120 kg
集水樹本体(D-I型用)	570×570×670 mm	245 kg
集水樹継ぎ足し(D・G型用)	570×570×340 mm	101 kg
集水樹継ぎ足し(E・H型用)	570×570×140 mm	43 kg

2 - 4 - 2 プレキャストマンホール工

「公園緑地工事標準歩掛(平成30年4月)2 - 5 集水樹・マンホール工」を参照する。

3 汚水排水設備工

3 - 1 適用範囲

本資料は、公園工事における汚水排水構造物工に適用する。

3 - 2 汚水枡・マンホール工

「公園緑地工事標準歩掛（平成 30 年 4 月）3 汚水排水設備工」を参照する。

3 - 2 - 1 インバート上塗り

「公園緑地工事標準歩掛（平成 30 年 4 月）3 - 2 - 1 インバート上塗り」を参照する。

4 園路広場整備工

4-1 適用範囲

本資料は、公園工事における園路広場整備工に適用する。

4-2 アスファルト系舗装

4-2-1 公園アスファルト舗装

施工概要・施工パッケージについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 路盤工、
- 1 - アスファルト舗装工」を参照する。

表 3.11 公園アスファルト舗装 (100m²当り)

名 称	規 格	単 位	路盤厚(mm)		舗装厚(mm)		備 考
			t=100	t=150	t=30	t=40	
下層路盤(歩道部)	再生クツァーヲ RC-30	m ²	100	-	100	-	施工P
			-	100	-	100	
表 層(歩道部)	アスファルト 混合物 各種	m ²	100	-	100	-	施工P
			-	100	-	100	
諸 雑 費		式	1				
計							

4-3 コンクリート系舗装

4-3-1 インターロッキング舗装

施工概要・施工パッケージについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 路盤工」を
参照し、市場単価については、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - インターロッキング
ブロック工」を参照する。

表 3.12 インターロッキング舗装 (100m²当り)

名 称	規 格	単 位	路盤厚(mm)		ブロック厚(mm)		備 考
			t=100	t=150	t=60	t=80	
下層路盤(歩道部)	再生クツァーヲ RC-40	m ²	100	-	100	-	施工P
			-	100	-	100	
インターロッキングブロック設置	標準品	m ²	100	-	100	-	市場単価
			-	100	-	100	
諸 雑 費		式	1				
計							

4 - 3 - 2 公園コンクリート舗装

施工概要・施工パッケージについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - コンクリート舗装工、国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 路盤工」を参照する。また、コンクリートハケ引き仕上げについては、「公園緑地工事標準歩掛 8-3-2 コンクリートハケ引き仕上げ」を参照する。

表 3.13 公園コンクリート舗装 (100m²当り)

名 称	規 格	単 位	舗装厚(mm)		備 考
			t=70	t=100	
コンクリート舗装工	人力舗設 舗設厚20cm未満	m ²	100	100	施工P
生コンクリート	18-8-25 W/C 60%以下	m ³	7.28	10.4	
瀝青繊維質目地板	厚10mm	m ²	2.8	4.0	
コンクリート ハケ引き仕上げ		m ²	100	100	
下層路盤(歩道部)	再生クワツァーラン RC-40	t=100	100	-	施工P
		t=150	-	100	
諸 雑 費		式	1		

(注) 1.コンクリート使用量については、ロス率を含む。

4 - 4 土系舗装工

本資料は公園工事における土舗装に適用する。

施工概要・施工パッケージについては、「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 土工」を参照する。

土舗装単価表 (100m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
路床盛土		m ³	10	施工P
盛土用真砂土・山土	厚 100mm 粒径 10mm 以下	m ³	10	
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 土量は締固め後の土量とする。

4 - 5 レンガ・タイル系舗装工

4 - 5 - 1 タイル舗装

(1) 施工歩掛

タイル舗装は次表を標準とする。

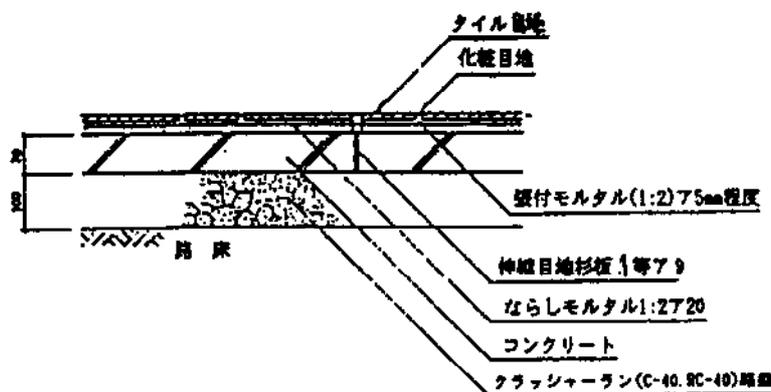
表 3.14 タイル舗装

(100 m²当り)

名 称	規 格・形 状	単 位	数 量		摘 要
			100 角平 (目地幅 8 mm)	150 角平 (目地幅 10 mm)	
路 床 工		m ²	100	100	
クラッシュラン路盤	厚 100mm	m ²	100	100	
タ イ ル 工		人	25	18	タイル張り
普 通 作 業 員		人	9	9	手伝い、小運搬
タ イ ル	無ゆう	枚	10,600	4,050	
コ ン ク リ ー ト	18-8-25 t=70mm	m ³	7.0	7.0	
型 枠		m ²	1.4	1.4	
下地モルタル塗	1:3 t=20mm	m ²	100	100	
目地モルタル	1:2	m ³	0.22	0.20	
伸 縮 目 地	杉板 1 等 t=9mm @5.0m	m	66.6	66.6	
諸 雑 費		式	1	1	

- (注) 1. 運搬距離 20m程度の人力による小運搬を含む。
 2. タイル材料の端部等の役物については、別途考慮する。
 3. タイルの数量はロス率 + 0.06 の分を含む。

(参考図)



4 - 6 石材系舗装工

「公園緑地工事標準歩掛(平成 30 年 4 月) 4 - 5 石材系舗装工」を参照する。

4 - 7 園路縁石工

4 - 7 - 1 コンクリート縁石

4 - 7 - 2 擬石縁石

本資料は、公園工事におけるプレキャスト製品の縁石工に適用する。

なお、施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 路側工」を参照し、縁石種類毎の積算条件区分は下記一覧表を標準とする。

縁石種類別の積算条件区分（ブロック規格）一覧表

名 称	形状寸法 (cm)	積算条件区分 (ブロック規格)	1本当り参考重量 (kg)	備考
コンクリート縁石 (A)	12 / 15 × 20 × 100	歩車道 各種 (2000 mm以下、 50kg 以上 550kg 未満)	63.4	
コンクリート縁石 (A - R)	12 / 15 × 20 × 60	歩車道 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	38.0	
コンクリート縁石 (B)	18 / 20.5 × 25 × 60	歩車道 B種	66.0	
コンクリート縁石 (C)	18 / 21 × 30 × 60	歩車道 C種	81.0	
コンクリート縁石 (D)	12 × 12 × 60	地先 A種	20.0	
コンクリート縁石 (F) (F - R)	10 / 11 × 15 × 60	歩車道 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	22.2	
切下げ縁石	4 / 18 × 10 × 60	地先 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	23.0	
フェンス用土止ブロック	15 / 17 × 20 × 60	歩車道 A種	44.0	
擬石縁石 (D)	12 × 12 × 60	地先 A種	21.0	
擬石縁石 (F)	10 / 11 × 15 × 60	歩車道 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	22.2	
擬石縁石 (F - R)	10 / 11 × 15 × 60	歩車道 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	22.2	
擬石縁石 (切下げ)	4 / 18 × 10 × 60	地先 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	23.0	
洗出縁石 (D)	12 × 12 × 60	地先 A種	21.0	
洗出縁石 (F)	10 / 11 × 15 × 60	歩車道 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	22.2	
洗出縁石 (切下げ)	4 / 18 × 10 × 60	地先 各種 (600 mm以下、50kg 未満)	23.0	

4 - 7 - 3 現場打縁石

本資料は、公園工事における現場打縁石工に適用する。

なお、施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 4 - 型枠工、 - 4 - コンクリート工、 - 2 - 目地・止水版設置工」を参照する。

現場打縁石 単価表

(100m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
型 枠	小型構造物	m ²	44.0	施工 P
コンクリート	小型構造物 人力打設	m ³	2.64	施工 P
面 木	長辺 15mm	m	100.0	
伸 縮 目 地	瀝青繊維質目地板 t=10mm	m ²	0.23	施工 P
諸 雑 費		式	1	
計				

4 - 7 - 4 石材縁石

「公園緑地工事標準歩掛（平成 30 年 4 月）4 - 6 - 2 石材縁石」を参照する。

5 修景施設整備工

5 - 1 適用範囲

本資料は、公園工事における修景施設整備工に適用する。

5 - 2 石組工

「公園緑地工事標準歩掛（平成 30 年 4 月）5 - 2 石組工」を参照する。

6 遊戯施設整備工

6 - 1 適用範囲

本資料は、公園工事における鋼製遊具据付に適用する。

6 - 2 遊具組立設置工

(1) 鋼製遊具据付施工歩掛

鋼製遊具の据付歩掛は次表を標準とする。

表 3.15 鋼製遊具据付歩掛 (1基当り)

名 称	形 状 寸 法	歩 掛(人)	
		特殊作業員	普通作業員
大 型 2 連 プ ラ ン コ	高 2.5m 幅 3.0m 安全柵高 0.6m付	0.34	1.02
大 型 4 連 プ ラ ン コ	" 幅 6.0m 安全柵共	0.52	1.56
一 方 式 滑 台	高 2.0m 滑面 18 cm × 40 cm × 4.0m	0.27	0.81
2 連 低 鉄 棒	高 0.9m 1.2m × 幅 1.8 2 連	0.06	0.18
3 連 低 鉄 棒	高 0.9・1.0・1.1m × 幅 1.8m 3 連	0.10	0.30
3 連 中 鉄 棒	高 1.1・1.3・1.5m × 幅 1.8 3 連	0.11	0.33
太 鼓 型 ラ ダ ー	高 1.5m 幅 1.28m 長 3.2m	0.10	0.30
山 型 ラ ダ ー	高 1.615~2.1~1.615m 幅 0.6m 長 5.5m	0.25	0.75

- (備考) 1. 本表歩掛は、据付歩掛であるため、組立は含まない。
 2. 小運搬は距離 20m程度とする。
 3. 形状寸法は標準の寸法であるため、これにより難しい場合は別途考慮する。

7 サービス施設整備工

7 - 1 適用範囲

本資料は、公園工事におけるベンチ・スツール据付に適用する。

7 - 2 ベンチ・テーブル工

7 - 2 - 1 ベンチ・スツール

「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 1 - 小型工作物工」を参照する。

(参考) ベンチ・スツール重量

名 称	1基当たり重量
丸太ベンチ(A)	38.2 kg / 基
丸太ベンチ(B)	66.3 kg / 基
背付きベンチ	34.0 kg / 基
ス ツ ー ル	31.9 kg / 基

8 管理施設整備工

8 - 1 適用範囲

本資料は、公園工事における管理施設整備工に適用する。

8 - 2 門扉工

8 - 2 - 1 金網柵門扉

(1) 金網柵門扉の施工歩掛は、次表を標準とする。

なお、門扉構造が特殊なものについては別途考慮する。

表 3.16 門扉設置歩掛

(1枚当り)

名 称	規 格	単 位	張高 (mm)		摘 要
			900 ~ 1,500	1,800 ~ 2,000	
特 殊 作 業 員		人	0.05	0.06	
普 通 作 業 員		人	0.05	0.06	

(注) 門扉は、扉幅 900 ~ 1,500 mm程度とし、両開きの場合は5割増とする。

(2) 単価表

門扉設置単価表

(1枚当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
門 扉		枚		
特 殊 作 業 員		人		表 4.11
普 通 作 業 員		人		表 4.11
諸 雑 費		式	1	
計				

8 - 3 柵工

8 - 3 - 1 外周柵

(1) 施工歩掛

外周柵(パイプ柵)は次表を標準とする。

なお、施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工、 - 4 - 型枠工、 - 4 - コンクリート工、 - 2 - 目地・止水版設置工」を参照する。

外周柵(パイプ柵) A 単価表

(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			A - 3	A - 4	A - 5	
基礎砕石	再生クランチャーラン RC-40	m ²	2.5	2.5	4.1	施工 P
型 枠	無筋・鉄筋構造物	m ²	6.0	8.0	10.20	施工 P
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設	m ³	0.54	0.72	1.22	施工 P
伸 縮 目 地	瀝青繊維質目地板 t=10mm	m ²	0.05	0.07	0.12	施工 P
面 木	長辺 15mm	m	10.0			
パイプ柵	(A) 鋼管製 H=500	m	10.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

外周柵（パイプ柵）B 単価表

(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			B - 3	B - 4	B - 5	
基礎砕石	再生クワッシャー用 RC-40	m ²	2.5	2.5	4.1	施工P
型 枠	無筋・鉄筋構造物	m ²	6.0	8.0	10.20	施工P
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設	m ³	0.54	0.72	1.22	施工P
伸 縮 目 地	瀝青繊維質目地板 t=10mm	m ²	0.05	0.07	0.12	施工P
面 木	長辺 15mm	m	10.0			
パイプ柵	(B) 角型鋼管製 H=500	m	10.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

8 - 4 車止め工

8 - 4 - 1 車止め

(1) 施工歩掛

車止めは次表を標準とする。

なお、施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工、 - 4 - 型枠工、 - 4 - コンクリート工」を、また塗装については本編 5 - 4 - 9 施設仕上げ工を参照する。

車止め 単価表

(10本当り)

名 称	規 格	単 位	数 量					摘 要
			A	B - 1	B - 2	F	G	
基礎砕石	再生クワッシャー用 RC-40	m ²	-	4.2	4.2	-	2.02	施工P
型 枠	小型構造物	m ²	5.57	10.0	7.25	-	5.60	施工P
コンクリート	小型構造物 人力打設	m ³	0.47	1.14	0.82	-	0.49	施工P
基礎ブロック設置	350×350×300	個	-	-	-	10	-	
車止め設置	各 種	本	10	10	10	10	10	
車 止 め	各 種	本	10	10	10	10	10	
塗 装	合成樹脂ペイント塗	m ²	2.28	3.54	3.54	1.91	2.00	5-4-9 参照
諸 雑 費		式	1					
計								

8 - 5 管理施設修繕工

8 - 5 - 1 管理施設修繕

本資料は公園工事における管理施設修繕に適用する。

(1) 外周柵改修

外周柵改修の施工歩掛は次表を標準とし、施工パッケージは「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 2 - 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工、 - 4 - 型枠工、 - 4 - コンクリート工、 - 2 - 目地・止水版設置工」を、また塗装については本編 5 - 4 - 9 9 施設仕上げ工を参照する。

外周柵改修 (A) 単価表

(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			A - 1	A - 2	A - 3	
基礎砕石	再生クワッシャーラン RC-40	m ²	2.0	2.5	3.0	施工P
型 枠	無筋・鉄筋構造物	m ²	6.12	8.20	10.28	施工P
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設	m ³	0.70	1.06	1.50	施工P
伸 縮 目 地	瀝青繊維質目地板 t=10mm	m ²	0.07	0.10	0.15	施工P
面 木	長辺 15mm	m	10.0			
パイ プ 柵	(A) 鋼管製 H=500	m	10.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

外周柵改修 (B) 単価表

(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			B - 1	B - 2	B - 3	
基礎砕石	再生クワッシャーラン RC-40	m ²	2.0	2.5	3.0	施工P
型 枠	無筋・鉄筋構造物	m ²	6.12	8.20	10.28	施工P
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設	m ³	0.70	1.06	1.50	施工P
伸 縮 目 地	瀝青繊維質目地板 t=10mm	m ²	0.07	0.10	0.15	施工P
面 木	長辺 15mm	m	10.0			
パイ プ 柵	(B) 角型鋼管製 H=500	m	10.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

9 施設仕上げ工

9 - 1 適用範囲

本歩掛は、公園工事における施設の塗装仕上げに適用する。

9 - 2 塗装仕上げ工

9 - 2 - 1 素地ごしらえ

素地ごしらえの施工歩掛は、次表を標準とする。(一般塗)

表 3.17 素地ごしらえ施工歩掛 (1㎡当り)

種 別	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
一 般 木 部 面	研磨紙	P120～P220	枚	0.07	
	塗装工		人	0.005	
鉄 面	研磨紙	P120～P220	枚	0.25	
	塗装工		人	0.015	
亜鉛メッキ面	イソングプライマ-	JIS K 5633 の 1 種	kg	0.05	
	塗装工		人	0.019	
コンクリート面	建築用下地調整塗材	JIS A 6916	kg	1.5	
	左官工		人	0.020	

9 - 2 - 2 素地調整

素地調整の施工歩掛は、次表を標準とする。(既設物塗)

表 3.18 素地調整歩掛 (10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			塗 装 工	普通作業員	
鉄 部	第 3 種ケレン	人	0.30	-	
	第 4 種ケレン	人	0.20	-	
木 部 コンクリート部 吹 付	清掃	人	-	0.15	

(注) 1. 塗替の場合に計上する。

2. 鉄部は旧塗膜の状態により、第 3 種又は第 4 種を使用する。

3. 旧塗膜の状況により第 2 種又は第 1 種が必要な場合、別途計上すること。

4. 素地調整の基準は、下記を標準とする。

第 3 種ケレン：グラインダー等により不良部分について、旧塗膜、さび等を除き地肌を出す。

第 4 種ケレン：ワイヤブラシ等により粉化物、汚れ等を落とす。

清 掃：粉化物、汚れ除去

9 - 2 - 3 合成樹脂調合ペイント塗り

合成樹脂調合ペイント塗りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.19 合成樹脂調合ペイント塗り (S.O.P 塗り) 施工歩掛 (1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	木 部	鉄 部	亜鉛メッキ面
木部下塗り用ペイント	JASS 18M-304	kg	0.10	-	-
さび止めペイント	JIS K 5625 の 2 種	kg	-	0.24	-
さび止めペイント	JIS K 5629	Kg	-	-	0.12
合成樹脂調合ペイント	JIS K 5516 の 1 種	Kg	0.19	0.20	0.20
研 磨 紙	P120 ~ P220	枚	0.07	-	-
研 磨 紙	P220 ~ P240	枚	-	-	0.14
塗 装 工		人	0.051	0.068	0.053

(注) 標準塗装回数

木 部 3 回塗 (下塗、中塗、上塗、各 1 回)

鉄 部 4 回塗 (さび止め 2 回、中塗、上塗、各 1 回)

亜鉛メッキ面 3 回塗 (さび止め 1 回、中塗、上塗、各 1 回)

9 - 2 - 4 オイルステインワニス塗り

オイルステインワニス塗りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.20 オイルステインワニス塗り (O.S.C 塗) 施工歩掛 (1 m²当り)

名 称	摘 要	単 位	数 量	適 要
オ イ ル ス テ イ ン		kg	0.05	
フタル酸樹脂ワニス	JIS K 5562	Kg	0.06	
セ ラ ッ ク ニ ス	JIS K 5431 の 1 種	Kg	0.05	
塗 装 工		人	0.058	

(注) 素地ごしらは、別途計上する。

(1) 単価表

素地ごしらえ (面) 単価表 (1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材 料	各種	Kg・枚		表 4.12
塗 装 工 又 は 左 官 工		人		表 4.12
諸 雑 費		式	1	
計				

素地調整 (面) 単価表 (10 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
塗 装 工		人		表 4.15
普 通 作 業 員		人		表 4.15
諸 雑 費		式	1	
計				

合成樹脂調合ペイント塗り(面)単価表 (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材 料	各種塗料・研磨紙	Kg・枚		表 4.13
材 料	合成樹脂調合ペイント	Kg		表 4.13
塗 装 工		人		表 4.13
諸 雑 費		式	1	
計				

オイルステインワニス塗り単価表 (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材 料		Kg		表 4.14
塗 装 工		人		表 4.14
諸 雑 費		式	1	
計				

9 - 3 加工仕上げ工

本資料は、公園工事における加工仕上げ工に適用する。

9 - 3 - 1 コンクリート加工仕上げ

「公園緑地工事標準歩掛(平成30年4月)8 - 2 - 1 加工仕上げ工」を参照する。

9 - 4 左官仕上げ工

本資料は、公園工事における左官仕上げ工に適用する。

なお、モルタルについては「国土交通省土木工事標準積算基準書 - 4 - モルタル練」を参照する。

9 - 4 - 1 化粧目地切

「公園緑地工事標準歩掛(平成30年4月)8 - 3 - 1 化粧目地切」を参照する。

9 - 4 - 2 コンクリート仕上げ

「公園緑地工事標準歩掛(平成30年4月)8 - 3 - 2 コンクリート仕上げ」を参照する。

9 - 4 - 3 モルタル仕上げ

「公園緑地工事標準歩掛(平成30年4月)8 - 3 - 3 モルタル仕上げ」を参照する。

9 - 4 - 4 色モルタル仕上げ

色モルタル仕上げの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.21 色モルタル金こて仕上げ (10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
下 塗 モ ル タ ル	1 : 2	m ³	0.08	8 mm
中 塗 モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.05	5 mm
白 セ メ ン ト		kg	50.4	7 mm(1:2)
白 砂		kg	115.7	
顔 料		Kg	2.35	4.67%
左 官 工		人	1.5	
普 通 作 業 員		人	0.18	
諸 雑 費		式	1	

(注) モルタル塗りには、左官工具、混和材、目地棒、定規等の補助材を含む。

9 - 4 - 5 人造石仕上げ

「公園緑地工事標準歩掛（平成30年4月）8 - 3 - 4 人造石仕上げ」を参照する。

9 - 4 - 6 タイル下地モルタル塗り

(1) 床タイル張下地モルタル

床タイル張下地モルタルの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.22 床タイル下地モルタル塗り（塗厚 22 mm） (1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg	11.0	
砂		m ³	0.027	
左官工		人	0.04	
普通作業員		人	0.026	
諸雑費		式	1	

(注) モルタル 1 : 3

(2) 壁タイル張りの下地モルタル

壁タイル張下地モルタルの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.23 壁タイル下地モルタル塗り (1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	エッジタイル下地 20 mm	外装タイル下地 16 mm	摘 要
セメント		kg	10.9	9.5	
砂		m ³	0.026	0.022	
左官工		人	0.09	0.070	
普通作業員		人	0.032	0.027	
諸雑費		式	1	1	

(注) 1. モルタル塗りには、左官工具、混和材、目地棒、定規等の補助材を含む。

9 - 5 タイル仕上げ工

本資料は、公園工事におけるタイル仕上げ工に適用する。

9 - 5 - 1 タイル張り仕上げ

(1) 床タイル張の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.24 床タイル張（一般床タイル張り） (1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			100mm 角	150mm 角	
タ イ ル	磁器タイル	枚	102	45	
セメント		kg	3.0	2.6	張付モルタル、目地モルタル
細骨材	細目	m ³	0.004	0.004	
下地モルタル塗	床	m ²	1.0	1.0	表 4.17
タイル工		人	0.22	0.19	
普通作業員		人	0.09	0.09	
諸雑費		式	1	1	

(注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。

2. タイル洗い手間は労務歩掛に含む。

(2) 床タイル(ユニットタイル張り)の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.25 床タイル(ユニットタイル張り) (1m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			100mm 角		
床 ユ ニ ッ ト タ イ ル		シート	11.5		
セ メ ン ト		kg	4.4		
細 骨 材	細目	m ³	0.003		
下 地 モ ル タ ル 塗	床	m ²	1.0		表 4.17
タ イ ル 工		人	0.19		
普 通 作 業 員		人	0.07		
諸 雑 費		式	1		

- (注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。
 2. タイル洗い手間は労務歩掛に含む。
 3. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 4. 床ユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。

(3) 床モザイクタイル(ユニット)張りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.26 床モザイクタイル(ユニットタイル張り) (1m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			25mm 角	50mm 角	
モザイクユニットタイル		シート	11.5	11.5	
セ メ ン ト		kg	5.2	4.0	
細 骨 材	砂	m ³	0.003	0.003	
下 地 モ ル タ ル 塗	床	m ²	1.0	1.0	表 4.17
タ イ ル 工		人	0.19	0.19	
普 通 作 業 員		人	0.07	0.07	
諸 雑 費		式	1	1	

- (注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。
 2. タイル洗い手間は労務歩掛に含む。
 3. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。
 4. 床モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。

(4) 床クリンカータイル張りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3.27 床クリンカータイル張り (1m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			120mm 角	152mm 角	180mm 角	
クリンカータイル	せり器質	枚	63	39	28	
セ メ ン ト		kg	5.5	5.8	6.1	張付り外、目地り外
細 骨 材	細目	m ³	0.002	0.002	0.003	
下 地 モ ル タ ル 塗	床	m ²	1.0	1.0	1.0	表 4.17
タ イ ル 工		人	0.19	0.18	0.17	
普 通 作 業 員		人	0.10	0.10	0.10	
諸 雑 費		式	1	1	1	

- (注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。
 2. タイル洗い手間は労務歩掛に含む。
 3. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。